

SVの活動 <1月1日～1月31日>

SVだよりは左記の期間の組織の活動報告です

新しい一年のスタート、「より楽しく」「一緒に創る」活動にしていきたいものです。ベースとなるプロスポーツのボランティア活動や、自主企画はもちろん、引き続き中高生のボランティア養成講座にとりくみました。

仙台89ERS、中村氏リレートーク盛況

- 1月1日(木)** 新年のごあいさつ
- 1月2日(金)** SVだより1月1日号アップ
- 1月8日(木)** SVからのお知らせ (リレートーク案内)
- 1月9日(金)** 89ERS後半戦ポスター掲示活動 (市内各所)
- 1月15日(木)** SVからのお知らせ (中高生ボランティア養成講座修了式案内)
- 1月16日(金)** ベルフィーユ班打合せ (8名/生涯学習支援センター)
- 1月17日(土)** 仙台89ERSホームゲーム (ゼビオアリーナ/秋田ボランティア体験1名)
- 1月18日(日)** 仙台89ERSホームゲーム
(ゼビオアリーナ/仙台ベルフィーユボランティア担当体験ボランティア)
- 1月21日(水)** 第34回スポーツリレートーク (青葉中央市民センター/35名参加)
講師 仙台スポーツリンク 代表 中村 彰久氏



- 1月22日(木)** SVからのお知らせ (中高生ボランティア育成講座修了式・会員継続案内)
楽天打ち合わせ

- 1月24日(土)** 広島 「若者が集うスポーツボランティア・セミナー」



広島ビックウェーブ

広島講演報告 (泉田)

講演テーマ スポーツボランティアのネットワーク ～地域から全国へ

以前、関東に住むあるサッカークラブのボランティア仲間から、地方のクラブがうらやましいという声をききました。それは、関東などの人口密集地には、さまざまな競争相手（スポーツ同士はもちろんその他のイベントも）があり、自分たちのクラブとして応援してくれる人を増やすことが大変ということもあれば、地域メディアがないために（全国紙、全国ネットのテレビ）、トップスポーツやボランティアが取り上げられることも少ないからということでした。

確かに宮城では、地域のプロスポーツの話題は、新聞、テレビ、ラジオなどでは欠かせないものですし、その意味でメディアだけではなく、スポーツを応援したり、サポートする人や組織の距離が近いと感じています。反面経済的な側面や、観客の確保など地方だからこそその課題もありますが、そこに住む人にとっての財産として、さまざまな人が連携することで、地域だからこそ身の丈に合わせたモデルが作れると思います。

そうした取り組みの中で期待されているのが、学生、特に大学生の力です。広島市では、もともと市の体育協会と、スポーツ施設の管理を業務とするスポーツ振興事業団が一緒になり、広島市スポーツ協会を組織、そこが市民ボランティアの募集、派遣の窓口となっています。プロ野球の広島東洋カープや、サッカーのサンフレッチェ広島、ハンドボールの国際大会まで、長年サポートを続けてきました。そこに新しいパワーを加える為、地域の大学との連携が始まっています。

登録者を増やし、後継者を育成し、自主的で活発なボランティア運営を可能とすること。その目標に向けての動きが始まりました。もともと、広島は企業スポーツも盛んであり、近年ではプロバスケットボールのチームも誕生、今後は野球、サッカー同様、広島市スポーツ協会からのボランティア派遣も期待されています。

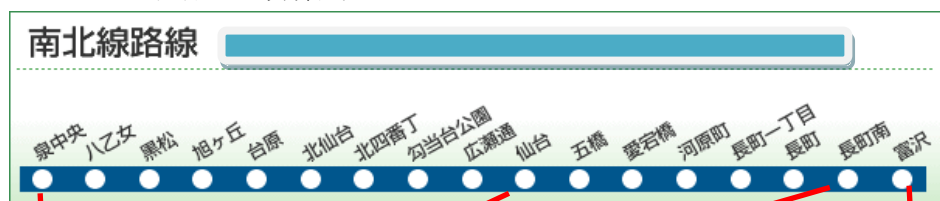
全国的にも珍しいスポーツボランティアの形、広島モデルの成功のためには、協会はもとより、参加するボランティア、大学、メディア、行政、各スポーツチームなどの継続的なビジョン検討の場の確保。それを達成するための組織運営がポイントですが、中核にいる方々の想いは強く、着実に実現に向けネットワークが広がっていると感じました。

1月27日(火) 企画研修班打合せ (6名参加/青葉中央市民センター)

1月29日(木) S Vからのお知らせ (中高生を見送ろう)

1月31日(土) 仙台フットボール映画祭 桜井薬局セントラルホール

仙台のスポーツは
バランス良く
市営地下鉄の路線
とつながり配置
されている



ユアテックスタジアム

仙台 19,694人



楽天k o b oスタジアム

宮城 28,000人



ゼビオアリーナ仙台

4,002人



仙台市体育館

5,705人